

仲卸業者の経営状況2020（概要）

1社当たりの売上高は減少し、依然厳しい経営状況
—約半数の事業者が経営の健全性に関する指標（※）に該当—

（※）経営の健全性に関する指標

①流動比率100%未満、②自己資本比率10%未満、③3期連続経常損失のいずれかに該当

【調査方法】

令和3年9月までに提出された仲卸業者の事業報告書（令和2年1月1日から令和2年12月31日までに終了した事業期間に係わるもの）をもとに、企業会計原則等に基づき修正し集計した。

サンプル数：859社（水産物513社、青果物281社、花き38社、食肉24社）

【ポイント】

○ 1社当たりの売上高は3.8%減少、増収業者の割合も35.0%→20.5%に減少

<取扱品目別1社当たり売上高の増減>

	令和元年	令和2年	増減率
全 体	102,490 万円	98,589 万円	96.2%
水 産 物	57,933 万円	50,962 万円	88.0%
青 果 物	157,871 万円	160,846 万円	101.9%
花 き	86,884 万円	79,841 万円	91.9%
食 肉	424,962 万円	409,600 万円	96.4%

○ 営業損益及び経常損益の黒字計上業者の割合はいずれも減少

- ・売上総利益率の増加割合は60.2%→52.2%と減少した。
- ・営業損益では黒字の業者が全体の45.1%→33.3%、経常損益では黒字の業者が全体の60.8%→47.7%と、いずれも前年に比べその割合は減少した。

○ 借入金比率 43.8%→47.6%に上昇

・全体の11.3%（前年10.8%）の業者が無借金経営をしている一方で、26.5%（前年21.8%）の業者は借入金比率が100%を超えており、債務負担は上昇している。

<取扱品目別の借入金比率>

	令和元年	令和2年	増減
全 体	43.8%	47.6%	3.8%
水産物	51.6%	60.1%	8.5%
青果物	34.7%	36.4%	1.7%
花き	37.6%	46.4%	8.8%
食肉	54.5%	52.6%	-1.9%

○ 経営の健全性に関する指標に該当する業者割合は若干増加

・経営の健全性に関する指標該当業者は全体で前年401業者（50.3%）→408業者（50.5%）であり、前年に比べその割合は若干増加し、依然として厳しい経営状況である。

<指標該当業者数>

	いずれかの 指標に該当する 業者数	指 標（※）			全ての指標 に該当	調査対象 業者（※2）
		流動比率 100%未満	自己資本比率 10%未満	3期連続 経常損失		
全 体	408業者 [50.5%] (401業者)	163業者 (173業者)	366業者 (344業者)	120業者 (115業者)	51業者 (48業者)	808業者 (798業者)
水 産 物	280業者 [58.6%] (271業者)	120業者 (128業者)	244業者 (224業者)	90業者 (84業者)	39業者 (35業者)	478業者 (475業者)
青 果 物	105業者 [38.7%] (108業者)	37業者 (37業者)	99業者 (98業者)	25業者 (25業者)	10業者 (11業者)	271業者 (266業者)
花 き	17業者 [48.6%] (16業者)	4業者 (6業者)	17業者 (16業者)	4業者 (5業者)	2業者 (2業者)	35業者 (34業者)
食 肉	6業者 [25.0%] (6業者)	2業者 (2業者)	6業者 (6業者)	1業者 (1業者)	0業者 (0業者)	24業者 (23業者)

※2 平成30年、令和元年、令和2年の3期連続して事業報告書が提出された業者

[]内パーセンテージは全体又は取扱品目ごとの調査対象業者に占める上記指標該当業者の割合

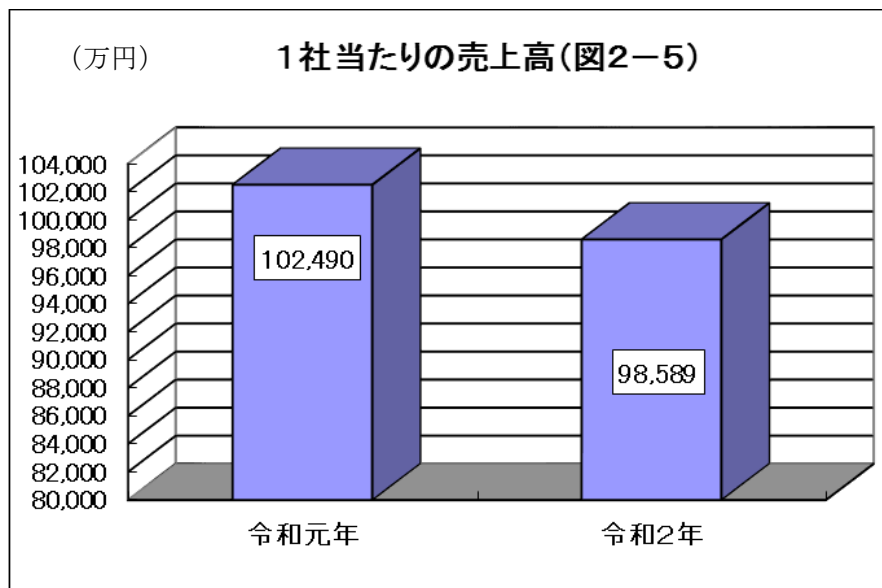
下段（ ）内は前年の調査結果

【概要】

1 1社当たりの売上高は減少

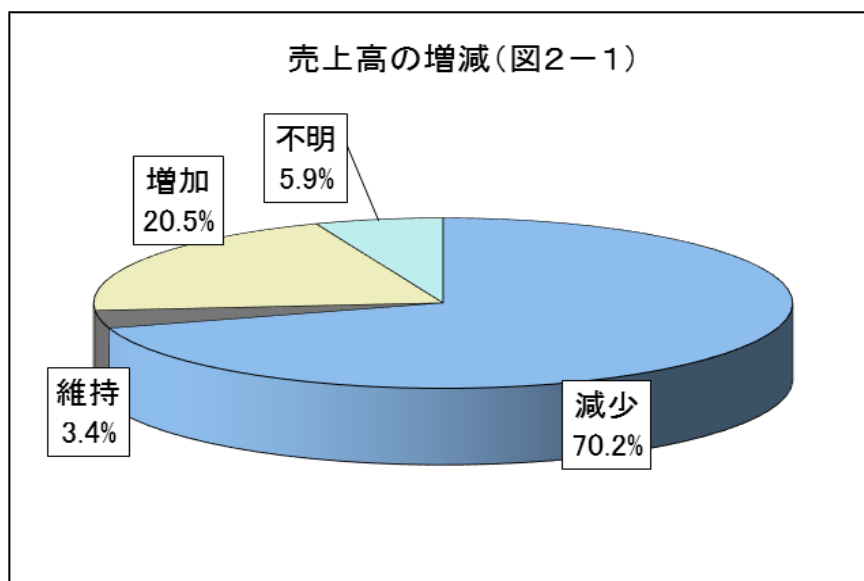
仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の10億2,490万円から9億8,589万円と、3,901万円(3.8%)減少した。

取扱品目別にみると前年に比べ青果物は増加し、水産物、花き及び食肉は減少した。



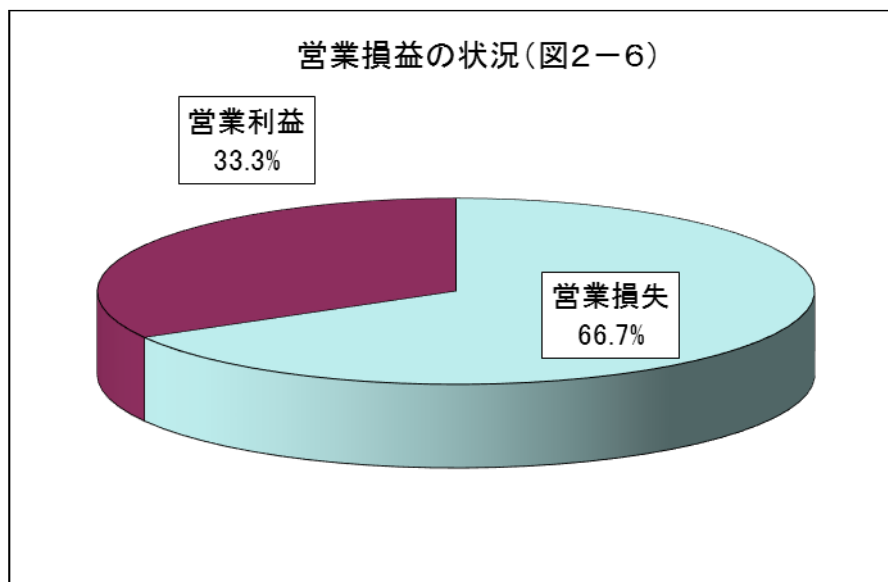
2 増収となった業者の割合は減少

売上高が増加した業者は、全体の20.5%となり、前年(35.0%)と比べその割合は減少した。取扱品目別に増加した業者の割合をみると、水産物は13.3%(前年34.9%)、青果物は32.4%(前年32.6%)、花きは23.7%(前年30.0%)、食肉は29.2%(前年70.8%)となっており、全ての取扱品目で増加割合は前年と比べ減少した。



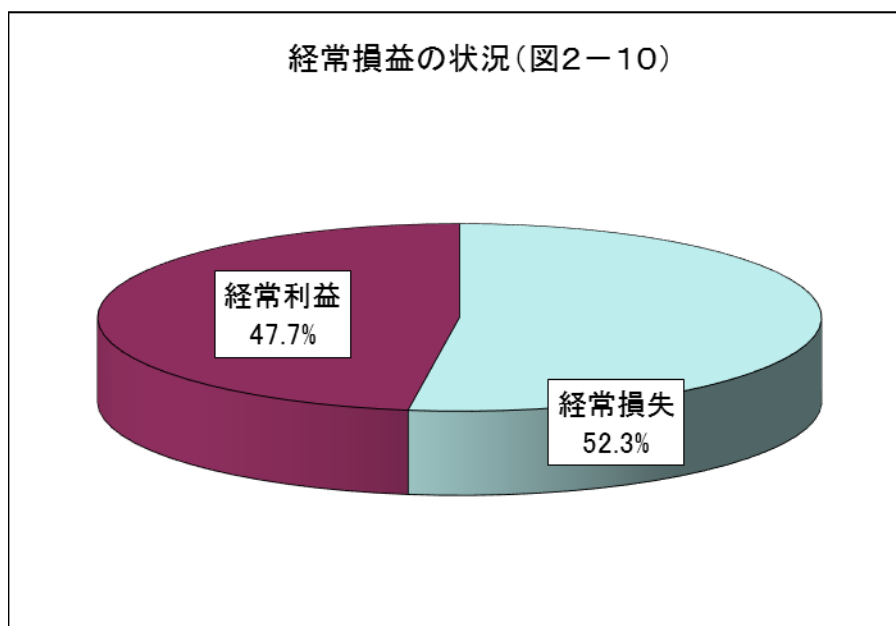
3 営業損益は全取扱品目において黒字計上の業者の割合が減少

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が33.3%(前年45.1%)、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が66.7%(同54.9%)となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が減少した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び花きでは半数以上の業者が赤字となり、食肉では半数以上の業者が黒字となった。



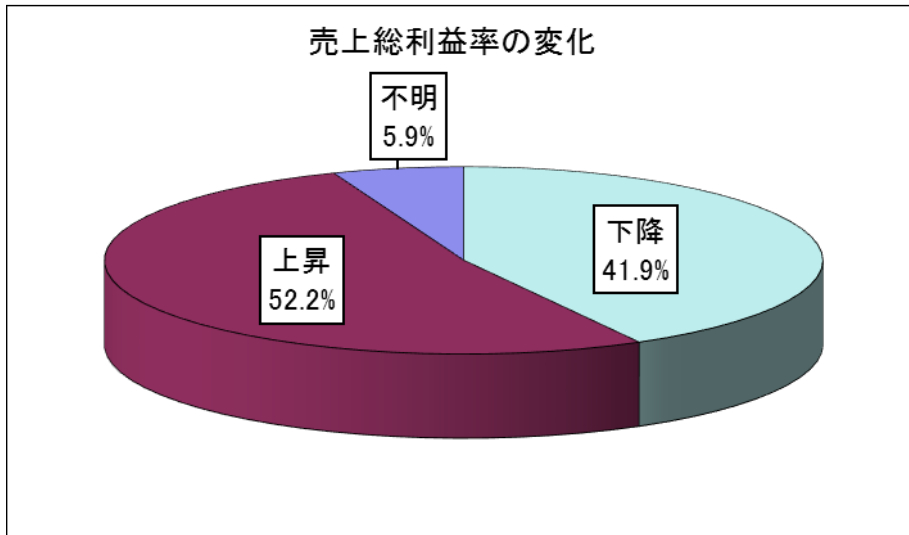
4 経常損益は5割弱が黒字計上

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は47.7%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は52.3%と、前年に比べ黒字業者の割合が13.1ポイント下降した。前年と比較すると、食肉は黒字業者の割合が増加(前年79.2%→当年83.3%)(以下同様)し、水産物(55.5%→39.8%)、青果物(67.4%→59.5%)及び花き(70.0%→44.7%)は黒字業者の割合が減少した。



5 売上総利益率は5割超が減少

売上総利益率（いわゆる粗利益率）は、全体では前年に比べ0.15ポイント下降した。取扱品目別にみると、水産物（前年15.5%→当年15.6%）（以下同様）及び花き（18.5%→19.0%）では上昇し、青果物（13.1%→12.9%）及び食肉（8.0%→7.8%）では下降した。



6 借入金比率100%以上の業者の割合は増加

借入金比率別にみると、無借金経営（借入金比率0%）の業者が97社（11.3%）あった。一方、借入金比率100%以上の業者が228社（26.5%）あり、前年（21.8%）に比べるとその割合は増加した。

また、取扱品目別にみると、借入金比率が100%以上の業者の割合は、水産物では32.0%、青果物では20.4%、花きでは15.8%、食肉では該当がなかった。

